

# 環境コミュニケーション活動のすすめ

『環境コミュニケーション活動』とは、企業が取り組んでいる環境活動の情報を発信し、地域の皆さんと情報を共有・交換する活動です。

工場や事業所(工場等)の周辺にお住まいの方々(地域の皆さん)は、工場等があることは分かっているけれども、工場等で取り組んでいる環境対策の内容や使用している化学物質の種類、防災体制など知らないことがほとんどです。また工場の場合には、「工場で何を製造しているか知らない」という方もいます。

そして、知らない(情報が無い)ために、工場等に対して漠然とした不安や、不信・不満を抱いてしまうことがあります。事業活動を円滑に展開していくためには、地域と良好な関係を築き、共存していくことが不可欠です。

そこで、地域の皆さんの不安を解消し、信頼関係の構築に繋がる『環境コミュニケーション活動』が重要となってきます。

## 企業のメリット ～環境コミュニケーション活動が生み出すプラスの効果～

### ● 企業イメージやブランド力がUp!

積極的な情報提供を心掛けていることや、環境に配慮した事業活動を行い、リスク管理や地域貢献活動に積極的に取り組んでいることをアピールできるので、

➡ 地域の皆さんに加え、消費者、取引先、株主、投資家からの信頼性が向上します。

### ● トラブルの未然防止に繋がります

地域の皆さんと企業がお互いに理解を深めていくことにより信頼関係を築くことができるので、

➡ 何か特別な事態が生じた場合でも、問題が大きくなる前に対処することができます。

### ● 従業員の意識向上が図れます

発信する情報をまとめる作業を通して、環境対策の現状と課題を認識することになり、また地域の皆さんの声を聴く機会が増えるので、

➡ 自社の環境対策や地域に期待される役割を、更に意識して行動するようになります。

### ほかにもこんなメリットが!

- ・ 地域の皆さんの関心事(期待する事や改善してほしい事)が分かり、効果的な環境対策や設備投資に繋がられます。
- ・ 社内での情報の収集や発信作業を通して、部署間のコミュニケーションが進みます。
- ・ 企業では気付かなかった問題点や解決策のヒントが得られることもあります。

## ガイドブックを参考に、できることから活動を!

環境コミュニケーション活動ガイドブックでは、環境活動の情報を発信するための方法と、その他日常的なコミュニケーション活動の実施例をご紹介します。工場等の規模や人員体制に応じて、実施可能な活動から少しずつ取り組みを始めてみてください。

そして、地域の皆さんとの情報共有・相互理解に有効な手段である『環境コミュニケーション\*1』に繋げていただくことを期待します。

※1 埼玉県では、化学物質の管理を含む環境分野全般を対象にした、企業(事業者)・住民・行政によるリスクコミュニケーション(意見交換会)を、『環境コミュニケーション』と呼んで普及を推進しています。

詳細は、本ガイドブックP19及び県大気環境課ホームページをご参照ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/kankyuu-communication.html>

# 目次

## 1 企業の環境活動の情報を発信する方法 ……P4～11

1 環境報告書 <sup>※2</sup> の作成・配布 ……P 4	6 市町村等の環境展や産業祭への出展 ……P 10
2 ホームページへの掲載 ……P 6	7 掲示板の設置 ……P 10
3 工場見学会の開催 ……P 7	8 自治会回覧板での情報提供 ……P 10
4 環境学習会などへの講師派遣 ……P 9	9 従業員への職場研修 ……P 11
5 職場体験の受け入れ ……P 9	10 マスメディアの活用 ……P 11

## 2 日常的なコミュニケーション活動 ……P12～13

① 地域の清掃(美化)活動への参加・協賛	④ 施設の開放・貸出(グラウンド、会議室、駐車場など)
② 地域の祭りへの参加・協賛	⑤ 工場まつり等の開催
③ 防災訓練の公開実施・参加	⑥ 近隣住民への定期的な訪問

## 資料 ホームページや案内文書などの作成例 ……P14～18

※2 本ガイドブック中の「環境報告書」の名称は、社会・環境活動報告書、CSR報告書、アニュアルレポート、環境活動レポートなども含めたものとして使用しています。

### 参考1 環境コミュニケーション(意見交換会)に参加した方々は、こんなふう感じています

～アンケート調査の結果より～

〈住民の方〉

Q A社の環境への取組についてどう感じましたか？



■非常に安心 ■安心 ■どちらともいえない ■少し不安

Q 環境への取組の説明や意見交換により、A社の環境への取組について理解は深まりましたか？



■理解が深まった ■やや理解が深まった  
■あまり理解が深まらなかった ■理解が深まらなかった

その他意見 ・環境に対し、会社全体でよく勉強し、また努力していることが分かった。  
・今後もぜひ継続して行ってほしい。

〈企業の方〉

地域の声を直接聞くことで、あまり注意を払っていなかった交通等の問題に気付かされた。  
地域の皆さんがどのようなことを懸念しているのか、要望や問題点が良く分かった。